

復職支援講習会 I

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。

2. **本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。**

つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

[申込開始日]

● 東京都歯科技工士会会員 : 5月9日(木) AM10時～

● 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 5月11日(土) AM10時～

* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

[申込方法]

① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

* 定員になり次第締切といたします。

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com



申込用



都技LINE公式
アカウント二次元コード

都技生涯研修

2024年度 復職支援講習会 I

オンラインセミナー

顔面補綴装置(エピテーゼ)の実際 —21年間の臨床体験—

西川 圭吾 先生

(有)テクニカルアンドアートサプライ

エピテーゼ製作の実際と これからの課題

國友 尚子 先生

(エピテーゼクリエイトラボ リント)



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

2024年 **6月9日** 日

入室 **12:40**

開始 **13:00** → 終了 **17:00**



オンラインセミナー

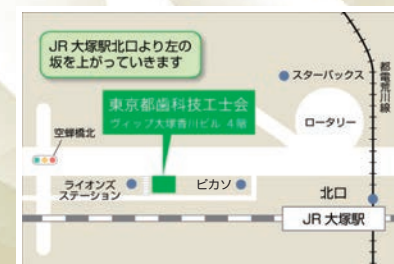
定員 **80名** 参加費 **無料**

会場受講

定員 **10名** 参加費 **無料**

場所 **東京都歯科技工士会 研修室**

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

顔面補綴装置（エピテーゼ）の実際 — 21年間の臨床体験 —

外傷・腫瘍および先天的な要因で顔面に実質欠損がある場合には形成外科医による組織再建が行われることが多いが、複雑な顔面性状をもと通りに復元することは難しい。このように患部の状態や時間的制約、そして患者が非観血処置を望む場合など、外科的処置が難しい場合には、患者の顔貌に調和させて製作される顔面補綴装置（エピテーゼ）が適応される。



エピテーゼはシリコン樹脂で製作されるが、エピテーゼ治療が国外で始まった経緯もあり、以前は輸入品で薬事認証が得られておらず問題になることもしばしばであった。このため日本顎顔面補綴学会は「薬事承認を目指したエピテーゼ用材料の開発プロジェクト」を発足させ、現在は国産材料が発売されている。このように製作技術にとどまらない、患者への安心安全な補綴装置の提供のための取り組みが行われている。

また、全国各地の大学病院においてもエピテーゼ、術前シミュレーション模型、その他医科由来の補綴装置など医科との連携が行われるようになり、日本歯科技工学会においても多くの発表が行われている。

日本口腔顎顔面技工学会においては、活動当初より医科との連携項目についての発表を行う中で歯科技工士の可能性と展望を模索し続け、毎年熱い論議が繰り広げられており、諸先輩や会員、患者から得たアドバイスも多い。

演者は、2003年より21年間、北海道大学病院生体技工部にて歯科技工士としてエピテーゼの製作に携わり、当初より3Dプリンターを応用し、アナログとデジタルの融合を実践してきた。また、アメリカの現場を視察・学会発表する機会にも恵まれ、スキルアップを図ることができた。

今回は、自身が歩んできたラインを時系列で振り返り、北海道大学病院でのエピテーゼ製作の経緯と症例、エピテーゼの歴史、使用材料、製作方法、国内外のエピテーゼ事情等について今後の展望を含め解説する。

■講師略歴

西川 圭吾

【にしかわ けいご】



略歴

1990年 北海道歯科技術専門学校卒業
1999年 北海道大学歯学部附属病院歯科技工部（現 北海道大医学病院生体技工部）入職
2003年 UCLA Maxillofacial Clinic 見学
2006年 UIC Maxillofacial Clinic 見学 (international anaplastology associationポスター発表)
2004～2019年 日本口腔顎顔面技工学会にて発表
2005～2019年 日本顎顔面補綴学会にて発表
2020～2021年 ベトナム国立中央歯顎顔面病院 顎顔面補綴実習（日本歯科技工士会）
2021年 「日本歯技」歯科技工技術や機材等の研究・開発に関する表彰
2003～2021年 のべ51症例のエピテーゼを製作（北大病院形成外科・耳鼻科）
2021年 医学教育等関係業務功労者表彰（文科省）
2021年 光免疫療法のための穿刺トレーニングファントムの製作
2023年～（南）テクニカル アンドアート サプライ

所属学会

●日本顎顔面補綴学会 認定技工士、学際連携委員会委員 ●日本歯科技工学会 専門歯科技工士 ●日本歯科技工学会 認定歯科技工士（顎顔面補綴） ●日本口腔顎顔面技工学会 理事

エピテーゼ製作の実際と これからの課題

本講演では、エピテーゼクリエイトラボリントにおいてエピテーゼの製作の現状と、これからの課題についてお話しさせていただきます。実際にどのように製作が行われているのか、どの部位の依頼があるのか、なぜ患者がエピテーゼの製作を依頼するまでに至るのか、エピテーゼに何を必要とされているのかを症例を交えてお伝えします。



また演者は2023年の夏、アフリカ大陸北西部に位置するモロッコで開業して10年目の義眼製作所、Laboratory Sebtiからのエピテーゼの製作依頼を受け、同年7月25日に日本を出国してモロッコのカサブランカへ入り、義眼とエピテーゼ製作支援活動を開始し、9月初旬までの1ヶ月少々の期間、義眼、エピテーゼの製作活動を行った。対象とする分野のエピテーゼ等は腫瘍摘出後の眼窩欠損の義眼、交通事故などの外傷による手指欠損、重度の光線過敏症による外鼻・口唇欠損など多様。モロッコにおける本分野でのエピテーゼ等の治療において、富裕層の患者はフランスで治療を受けることがしばしばあるが、それができない患者の需要に応じている治療事情、症例をお伝えします。

■講師略歴

國友 尚子

【くにとも なおこ】



エピテーゼクリエイトラボリント

略歴

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校卒業
（南）オーソデント勤務
（南）ウイルデント勤務
エピテーゼクリエイトラボリント 開業 H31.9